

2 目標達成計画

作成日：平成28年 2月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	災害時要援護者施設、又地震・大規模災害・高潮・津波発生時の緊急避難場所としてのマニュアル研修(要援護者、地域住民等の受入)は行っているが、自然災害を想定した実践的な訓練は行っていない。、特に大規模な地震を想定した訓練の実施、地元自治会との連携、協力体制の確立が今後の課題である。	災害発生時の利用者様の安全確保や、発生後の対応(要援護者、地域住民の受入れ等)が落ち着いて、的確に行えるようになる。	各居室、フロアの危険箇所を話し合い、転倒防止部品やヘルメットなどの防災備品を整備する。また、平成28年度のシェイクアウト(県民いっせ地震防災行動訓練)には、前回の反省点をふまえ検討した内容で参加する。	12カ月
2	13	災害時要援護者施設、又地震・大規模災害・高潮・津波発生時の緊急避難場所としてのマニュアル研修(要援護者、地域住民等の受入)は行っているが、自然災害を想定した実践的な訓練は行っていない。、特に大規模な地震を想定した訓練の実施、地元自治会との連携、協力体制の確立が今後の課題である。	地元自治会(役員や自主防災組織の方々)と自然災害等を想定した訓練が実施できる。また、災害発生後の具体的な協力内容が話し合え、自治会との連携体制を整えられる。	自治会が行っている防災訓練や各種行事に積極的に参加する。また、自治会の役員会もしくは自主防災会の会合に出席して、施設の災害対策内容を自治会の方々に伝える。	24カ月 ～ 36ヶ月
3					カ月
4					カ月
5					カ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出してください。(提出必須)